

2018 年度活動報告 CJP 授業：レギュラープレ1A

西村 由美（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

本科目は、日本語学習経験のほとんどない現代日本専攻の履修者に対して、選択科目として週2コマで開講されている。本格的な日本語学習へ進む前の入門期という位置づけであるため、ごく基本的な表現を使って、学習者が留学生活の中で経験すると思われる場面において、簡単な会話ができるようになることを目標とした。本科目の履修前提条件として、ひらがな・カタカナの読み書きは必須とされていないため、日本語とローマ字が併記されている『NIHONGO FUN&EASY』を主教材として使用した。

2. 授業内容

授業は、4コマで『NIHONGO FUN&EASY』2課を学ぶペースで進めた。各コマの内容は以下のとおりである。1コマ目は言語知識の確認が中心である。2課分の語彙や表現の紹介、文法の説明をし、各課でターゲットとなるフレーズの発話練習を行う。2コマ目・3コマ目は運用の練習である。各回1課分の内容に沿って会話練習を行い、授業の最後に語彙クイズを行う。4コマ目は、学んだ内容の発表と評価である。2課分のフレーズクイズ（提示された絵カードを見て、場面にふさわしいフレーズを言う）を一人ずつ行った後、ペアで考えたロールプレイを発表する。

週2コマで日本語を学ぶことや日本語でコミュニケーションすることの楽しさを感じてもらいながら、本格的な日本語学習へ進む一歩となることを期待して、日本人学生のボランティアと会話を練習する機会を設けたり、基本的な語彙や表現についてのクイズを行ったりした。また、各課の学習が終わるごとに、宿題として、学んだ表現を実際に教室外で使ってみるタスクや、自分の日常生活について書いて話すタスク、生活で耳にした言葉を書きとめるタスクを課し、留学生活を活かしながら四技能すべてを使うよう促した。学期の最後には、授業で学んだ語彙や表現を使ってミニドラマを作り、グループごとに発表を行った。

3. 成果と今後の課題

アンケートでは概ね高評価を得ることができ、学期末の発表やボランティア学生と話す様子からも、日本語を使うことを積極的に楽しんでいることがうかがえた。また、日本語学習を継続していくとの声も多かったため、今後は、話す活動を中心にしながらも、日本語の運用の土台となる言語知識の習得も目指す方向で改善したい。